

環境保全効果

項目	単位	2015年	2016年	2017年	対前年増減率	
		実績値	実績値	実績値		
総エネルギー使用量(熱量換算)	GJ	1,419,839	1,367,717	1,328,422	-2.9%	
CO ₂ 排出量	tCO ₂	66,676	64,498	62,657	-2.9%	
NO _x 排出量	燃焼設備	t	7.2	7.7	7.3	-4.1%
	車両	t	62.9	61.1	60.5	-1.0%
水使用量	m ³	1,254,841	1,282,700	1,254,321	-2.2%	

環境保全対策に伴う経済効果

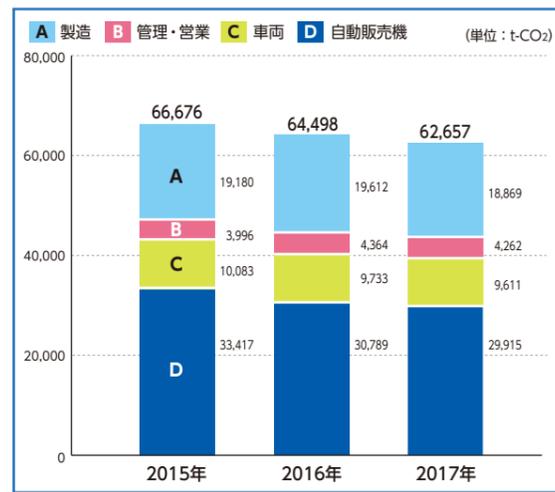
(単位：千円)

内容	2015年	2016年	2017年
リサイクルにより得られた有価物の売却額(自動販売機・缶、PET、プラスチック、古紙等)	43,512	25,715	30,389

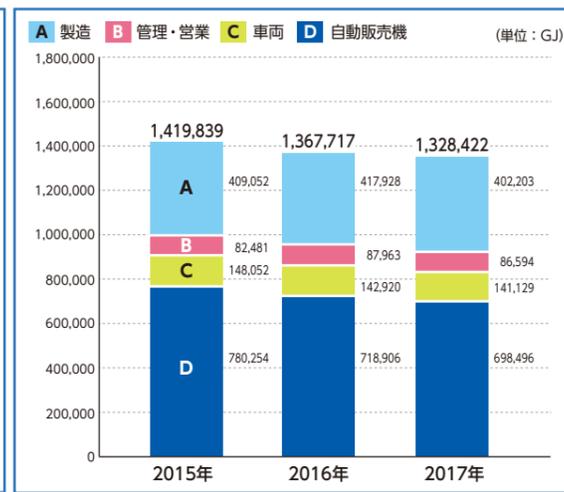
環境効果

販売機器では自動販売機のノンフロン化やLED照明の採用などを行い環境負荷低減に取り組んでいます。また、「ピークシフト自販機」などの省エネ型自販機の投入により、CO₂排出量の削減に努めました。物流部門では、物流拠点の集約及び物流網の見直しなどにより物流の効率化を行っています。また、車両の環境負荷低減に向けアイドリングストップや効率的な走行などエコドライブを推進し、物流効率化と使用車両の両面でCO₂削減を進めています。資源の循環利用の鍵となる再資源化では、廃棄物自動販売機や空容器のリサイクルを積極的に推進し、廃棄物を削減しています。今後、省エネ活動やリサイクルの推進、廃棄物の減量を行い、環境負荷低減に取り組んでいきます。

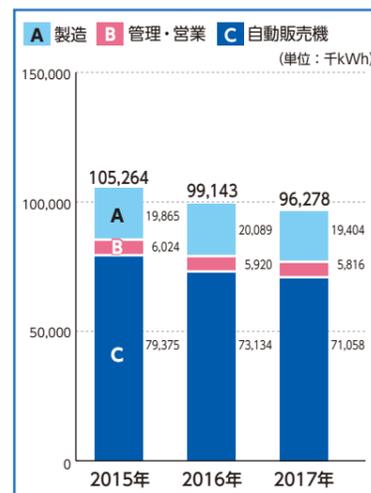
CO₂ 排出量の推移



エネルギー使用量(熱量換算)の推移



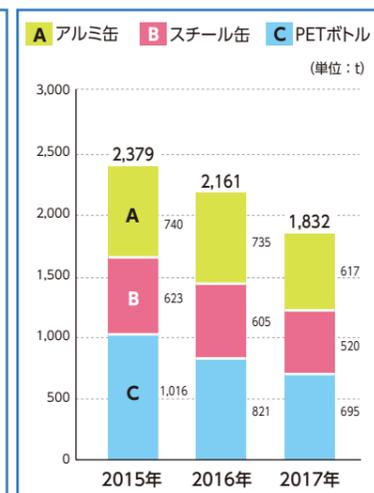
使用電力量の推移



水使用量の推移



空容器回収量の推移



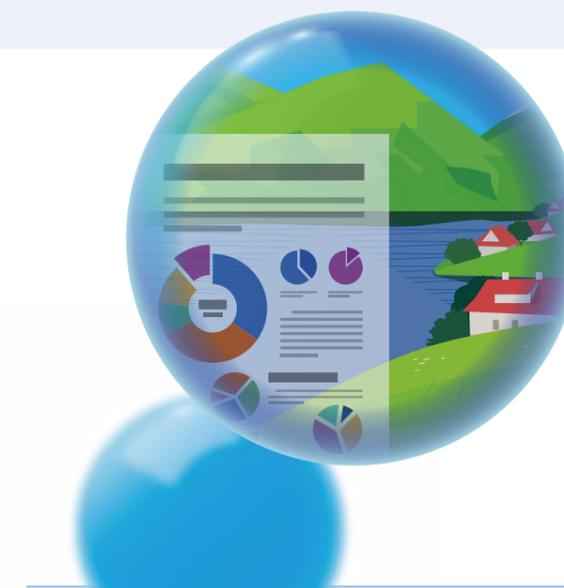
〈集計方法について〉
 ・CO₂は電力・燃料より、NO_x・SO_xは燃料より算出しています。(SO_xは排出量が微量であるため、環境保全効果の表には記載していません。)
 ・燃料由来のCO₂排出量は、「地球温暖化対策推進法施行令」に基づく換算係数より算出しています。
 ・電力由来のCO₂排出量は、電気事業連合会CO₂排出原単位より算出しています。
 ・NO_x排出量は、環境省「環境活動評価プログラム」の排出係数より算出しています。

・SO_x排出量は、燃料の組成より理論値を用いて算出しています。
 ・管理・営業の項目には、物流倉庫の数値を含めています。
 ・車両の項目には、敷地内で使用するフォークリフト及び当社製品等を搬送している外部委託車両の燃料使用量を含めています。
 ・製造(井水)は製造量と連動しています。

環境会計について

「環境会計」とは、企業が環境保全に投じたコストとその活動により得られた効果を把握するための会計手法です。より効率的かつ効果的な推進を目指しています。

環境保全活動の効果「環境会計」を見える化



環境保全コスト

2017年度は、倉庫照明などを水銀灯や蛍光灯からLED照明に切り替え、冷暖房設備を重油から天然ガスに切り替えるなど環境負荷低減に向けた取り組みに投資を行いました。また、廃棄物処理委託業者の視察や事業所・グループ会社を対象に廃棄物管理業務点検を実施し、事業活動で排出される廃棄物の適正管理・処理に向けた取り組みを継続しています。

環境保全コスト

(単位：千円)

項目	主な取り組みの内容	2016年		2017年	
		投資額	費用額	投資額	費用額
1.事業エリア内コスト	計	151,013	123,590	92,254	131,373
(1) 公害防止コスト	工場排水処理 他	74,536	30,294	22,702	27,780
(2) 地球環境保全コスト	工場節水設備・省エネルギー設備 他	49,326	15,734	69,300	15,870
	自動販売機のフロン回収・破壊	245	14,795	0	10,905
	天然ガス車・ハイブリッド車のリース費用※	0	19,593	0	26,233
(3) 資源循環コスト	各事業所の廃棄物の処理・リサイクル	26,906	41,338	252	47,925
	自動販売機の処理・リサイクル	0	1,836	0	2,660
2.上・下流コスト	計	0	91,866	0	88,496
	空容器の回収・リサイクル	0	24,137	0	24,336
	空容器回収ボックス・空容器回収用ポリ袋	0	35,983	0	32,971
	再商品化委託費 他	0	31,746	0	31,189
3.管理活動コスト	計	0	32,030	0	31,497
	環境負荷の測定	0	21,805	0	21,372
	EMS構築・運用、環境コミュニケーション	0	10,225	0	10,125
4.社会活動コスト	計	0	14,047	0	13,463
	業界団体活動、環境支援活動 他	0	13,527	0	12,943
	本社構内緑化保守	0	520	0	520
合計		151,013	261,533	92,254	264,829

※2017年度から「天然ガス車・ハイブリッド車のリース費用」に変更しました。

マテリアルバランス

